

# 債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー



南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		5/5 (4/21との比較)	5/5 (4/21との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
カナダ 	AAA	1.54% (+0.07)	82.55円 (+2.09%)	+2.0% 2016年4Q	0.50%	GDP（国内総生産）や雇用者数が市場予想を下回る内容。フランス大統領選挙と米国経済に期待が高まる環境。米国債利回りの動きにつれる形で、国債利回りは上昇。カナダドルは対円で上昇。	住宅着工件数などの発表が予定され、景気回復の度合いと金融政策の先行きを探る状況。欧米の政治経済動向が意識される中、引き続き国債利回りはレンジ内での推移となるとみられる。原油価格動向も注目。
	Aaa	 金利上昇		 景気安定	 据え置き局面		
ブラジル 	BB	9.90% (+0.01)	35.47円 (+2.32%)	-2.5% 2016年4Q	11.25%	ブラジル議会下院は労働改革法案を承認。注目の年金改革法案では審議の難航が予想される。国債利回りは小幅上昇。レアルは対米ドルで下落、対円では上昇。	更なる金融緩和が見込まれることから、債券市場では利回りに低下圧力がかかりやすい状態も、注目の年金改革法案の審議は不透明感が漂う状況。債券・為替市場は上値の重い展開を予想。
	Ba2	 金利横ばい		 景気回復	 利下げ局面		
メキシコ 	A	7.11% (+0.07)	5.93円 (+2.27%)	+2.7% 2017年1Q	6.50%	NAFTA（北米自由貿易協定）再交渉を巡り値動きの荒い展開となる中、米国で堅調な経済指標が散見されたこともあり、国債利回りは上昇。ペソは対米ドルでは下落、対円では上昇。	インフレ統計の発表を予定。中銀目標を上回って推移する物価の動向には注目。今後も米国の動向をにらみながらの展開が継続し、NAFTAの再交渉を見据え、債券・為替市場ともに神経質な展開を予想。
	A3	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		5/5 （4/21との比較）	5/5 （4/21との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	2.65% （+0.11）	83.63円 （+1.62%）	+2.4% 2016年4Q	1.50%	市場予想通り中銀は政策金利を据え置き、金融政策報告では今後の経済成長予想を引き上げた。欧米の政治経済への楽観的な見方を背景に世界的に金利が上昇する中、国債利回りは上昇。オーストラリアドルは対円で上昇。	2017-18年度予算案に加え、企業景況感や小売売上高などの経済指標の発表が予定され、今後の金融政策を見る材料に。欧米や中国の政治経済動向もにらみながら、債券・為替市場は一進一退の動きを想定。
	Aaa	 金利上昇		 景気安定	 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	3.03% （+0.06）	77.99円 （+1.88%）	+2.7% 2016年4Q	1.75%	ニュージーランドの企業センチメントは、堅調さを維持。リスク回避的なマーケット環境の巻き戻しなどから、円が主要通貨に対して下落する中、ニュージーランドドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	経済指標が良好な環境下、中銀理事会が開催予定であり、今後の金融政策を占う上で重要となる。次の政策変更が利上げ方向との見方が高まる可能性もあり注目。
	Aaa	 金利上昇		 景気回復	 利上げ局面		
ノルウェー 	AAA	1.67% （+0.08）	13.13円 （+4.35%）	+1.8% 2016年4Q	0.50%	失業率や小売売上高などの経済指標は概ね市場予想の範囲内。原油価格の下落がノルウェークローネの上値を抑える要因となった一方、円が主要通貨に対して下落し、ノルウェークローネは対円で上昇。国債利回りは上昇。	鉱工業生産やインフレ関連指標などの経済指標や、原油価格の動向などが注目材料。今後の注目は経済ファンダメンタルズに移っていくものと予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。

※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		5/5 （4/21との比較）	5/5 （4/21との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BBB-	<b>7.73%</b> （+0.04）	<b>8.41円</b> （+1.18%）	<b>+0.7%</b> 2016年4Q	<b>7.00%</b>	製造業PMIは市場予想に反して鈍化。冴えない経済指標を受けて、ランドは対米ドルで下落。円安の進行により、対円では上昇。金融市場全般の流れに沿って、国債利回りは上昇。	製造業生産などの発表を予定。中銀はレポートの中で、更なる信用格付の引き下げに伴うリスクに言及。財政・政治的な不透明感の残存から債券・為替市場はともに上値の重い展開を予想。
	Baa2	 金利上昇		 景気鈍化	 据え置き局面		
インドネシア 	BB+	<b>6.75%</b> （▲0.00）	<b>0.85円</b> （+3.30%）	<b>+5.0%</b> 2017年1Q	<b>4.75%</b>	GDP（国内総生産）は良好な結果。インフレ率の伸びが市場予想を上回るも、中銀の目標範囲内で推移。海外からの資金流入が強まる中、ルピアは対円で上昇。国債利回りはほぼ変わらず。	外貨準備高や消費者信頼感指数などの発表を予定。国内景気が底堅く推移する中、相対的な利回り水準の高さが選好されやすいことから、債券・為替市場ともに堅調な推移を予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
インド 	BBB-	<b>6.90%</b> （+0.01）	<b>1.75円</b> （+3.37%）	<b>+7.0%</b> 2016年4Q	<b>6.25%</b>	製造業PMIは高水準を記録した前月から横ばい。堅調な経済指標などを受けて、ルピーは対米ドル、対円ともに上昇。金融市場全般の流れに沿って、国債利回りは小幅上昇。	インフレ統計や鉱工業生産などの発表を予定。政府は不良債権問題の解決を目的とする銀行規制法の改正を発表。国内改革の進展が好感されやすく、債券・為替市場ともに堅調な推移を予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気回復	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

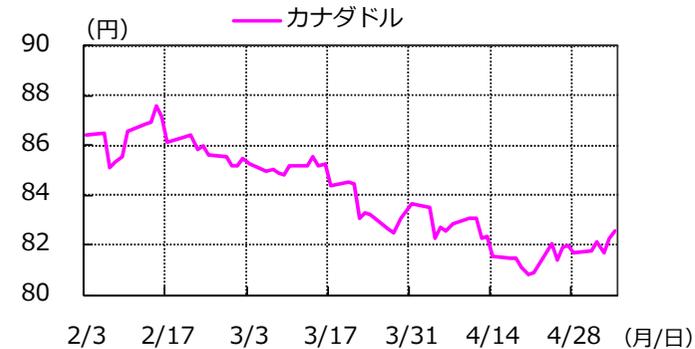
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/2/3～2017/5/5

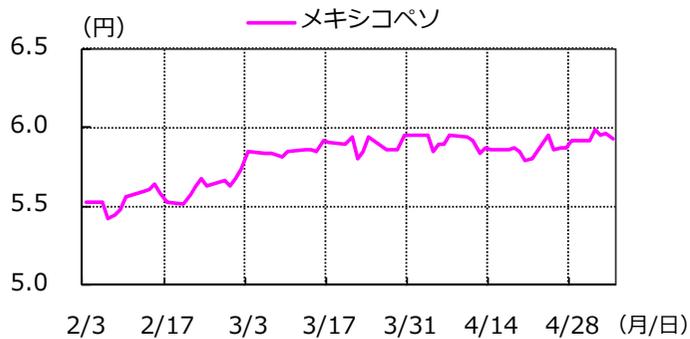
カナダ



ブラジル



メキシコ



※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

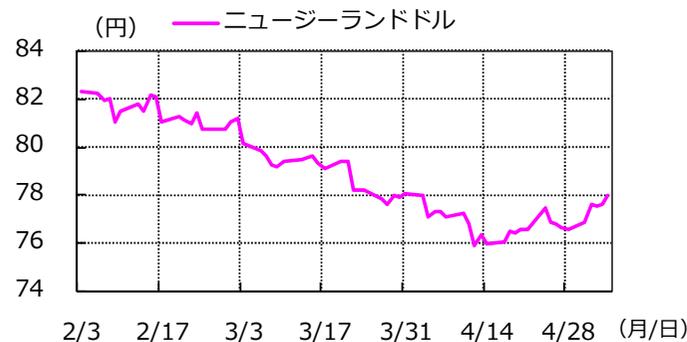
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/2/3～2017/5/5

オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー



※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

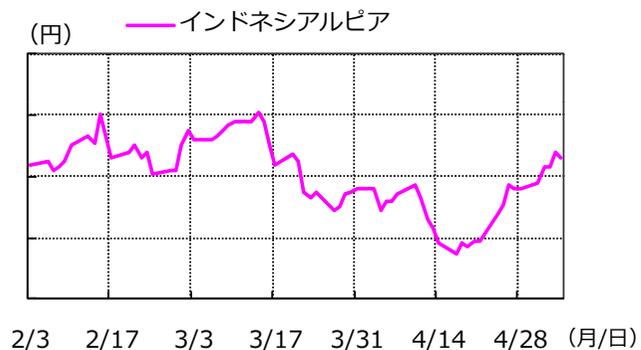
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/2/3～2017/5/5

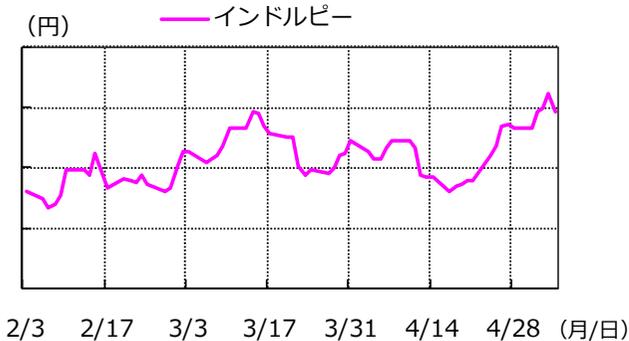
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

# 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

## 【投資信託に係るリスクと費用】

### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

### ● 投資信託に係る費用について

【ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

#### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限4.104%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

#### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

## 【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。